



HAJDÚSZOBOSZLÓ

ハイドゥーソボスロー

基本情報

地域：東部

県：ハイドゥービハル県 (Hajdú-Bihar megye)

人口：23 882 人

面積：238,7 人/km²

俗名：ソボスロー

ホームページ：<https://hajduszoboszlo.hu/>



紹介ビデオ：<https://www.youtube.com/watch?v=Gec1S6x4Oel>



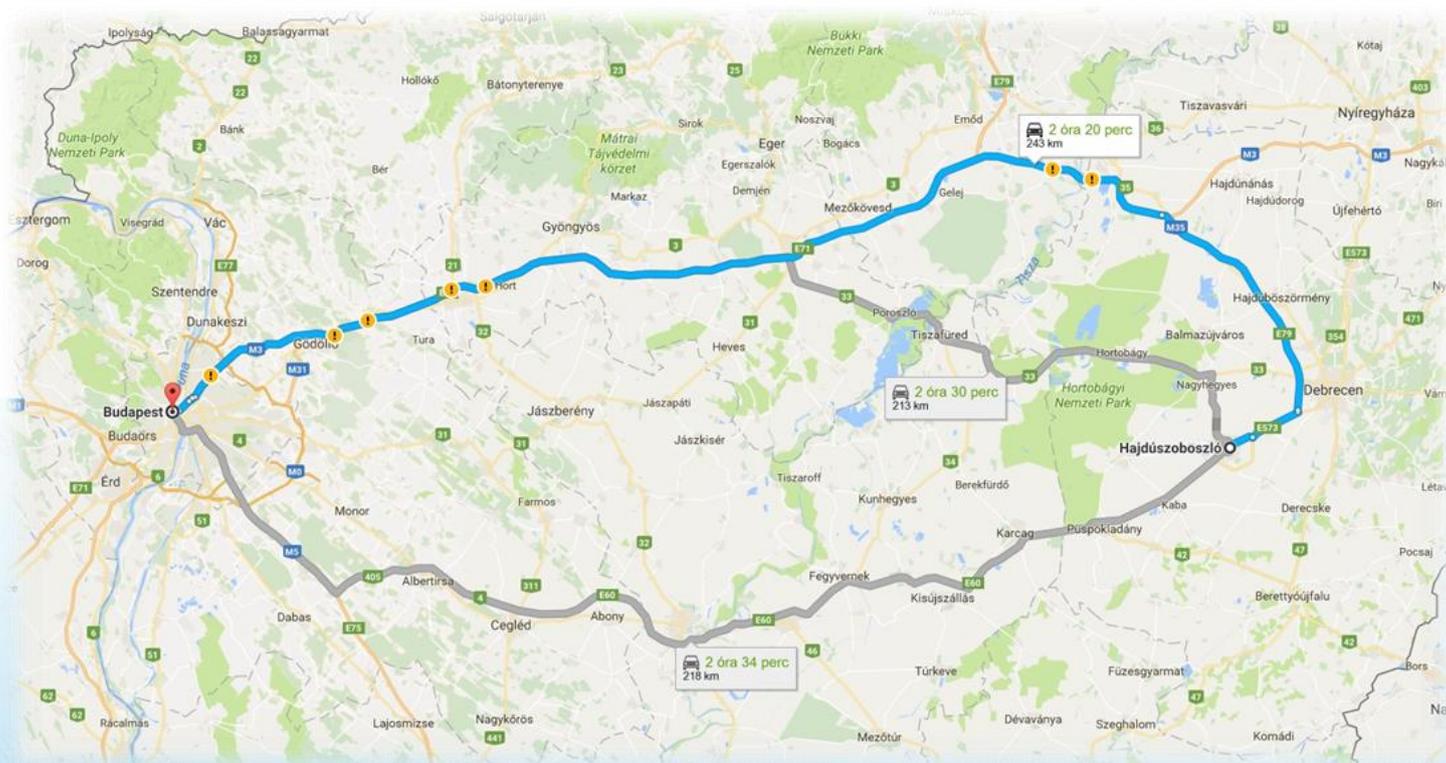
ブダペストからのアクセス

ソボスローへの電車は、西駅（Nyugati pályaudvar）から出発し、InterCity（IC）と普通電車で行くことが出来る。ICの方が早く、きれいだから、お勧め。ICで行くとソボスローまで2時間13分かかる。ICの終点はNyíregyházaである。

（ここでは電車はいつ出発するか、切符はどれぐらいかかるなど、色々調べられる：

<http://elvira.mav-start.hu/elvira.dll/x/index?language=2>）

それから車でも行ける。そうすると2時間20分くらいかかる。



名前の意味

ハイドゥーソボスローという名の由来をめぐり、様々な説がある。メリヒ・ヤーノシュ（Melich János）の1929年の説によると、「ソボスロー」はもともとスラブの人名である。そして1606年に「ハイドゥー」という民族がこの町に移住させられたことから、町の名前がハイドゥーソボスローに変わった。だが今もソボスローと称することが多い。

歴史

1925年、温泉の発見のおかげで、この小さな町の展望が一気に変わった。その後、町が発展し始めた。

ソボスローが初めて記録に記されたのは1075年だ。ずいぶんと昔から存在している町だそう。



1660年にはトルコ軍に破壊されそうになったが、立ち直ることが出来た。

19世紀にはハイドゥーソボスローとその辺りは盗賊がたくさんおり、危ないところとして知られていた。しかし盗賊が追い出された後は安全な地域となった。

町の評判が変わったのは1925年。石油やガスを見つけるための掘削の際、1091メートルの深さの温泉が発見された。間もなくその住民は温泉の癒しの効果にも気づき、温泉施設やスパ施設が立てられ、観光も盛んになり、町は繁栄し始めた。今も小さく、田舎の雰囲気もあるが、人気の温泉町でもある。

ちなみに、ハンガリーで波プールが初めて設置されたのはハイドゥーソボスローである。

ハイドゥーソボスローに生まれた有名人

Csokonai Vitéz Gizella (チョコナイ・ウイテーズ・ギゼッラ)

1894年–1965年

ハンガリーを代表する詩人の一人である。チョコナイ・ウイテーズ・ミハイと言うハンガリーではよく知られている詩人の親戚である。4歳のときに目が見えなくなった。盲目保護全国協会働き、1931年に「A fénytelenység világából」「光のない世界より」というタイトルの詩の本が出た。盲目の人の厚生のために働いた人物である。

Hőgyes Endre (ホージェシュ・エンドレ)

1847年–1906年

医者、大学の教授、ハンガリー科学アカデミーの会員。実験医学の分野で重要な発見をした人である。

アレクサンダー・グラハム・ベルによって1878年に組み立てられた電話を聴力検査のために使い、彼の造った機械は世界初の聴力計と言われている。



Fehér Gábor (フェヘール・ガーボル)

1893年–1941年

詩人、小説家、評論家や教師としての活躍がハンガリーで有名である。

Gönczy Pál (ゴンツィ・パール)

1817年–1892年

ハンガリー人の教師で、教育の発展のために努力した人物である。ハンガリー科学アカデミーの会員。



Hüse Károly (フシェ・カーロイ)

1940年–1978年

ハンガリーを代表する優れた功績を残しているスポーツマン、空挺部隊員である。



Kenézy Gyula (ケネージ・ジュラ)

1860年–1931年

産婦人科医と大学の教授として有力な人物であった。



名所

🌀 Hungarospa



ハイドゥーツボスローの観光スポットの No.1！ヨーロッパで一番面積の広い温泉施設とされている。

温泉、保養地、アクアパーク、アクアパラス、と 4 つの施設に分けられる。様々なサービスの中で、誰でも自分の好みに合った楽しみ方が見つけられるだろう。

温泉

温泉がオープンしたのは 1927 年 7 月 26 日。
検査によると、温泉に使われるお湯、つまりハイドゥーツボスローの下に広がっている水の成分は非常に独特だそうだ。Dr. Dalmady Zoltán (1880 年-1934 年) によると「ハイドゥーツボスローのお湯は 5 倍に希釈された海水で、三畳紀の海から残された形見」らしい。

現代、違う温度の屋内風呂 (32, 36, 38 °C) が 3 つと露天風呂が 4 つある。

入浴のたびに感じられる癒しの効果はハイドゥーツボスローのお湯の成分に原因がある。主に NaCl と塩化アンモニウムからできており、その他臭素、ヨウ素、炭酸塩や硝酸塩なども成分に含まれている。

お湯はリウマチ、婦人科学的問題、炎症などに効果的で、美肌効果もあるそうだ。

しかし、温泉の強さのため、14 歳以下のお客様はご利用はご遠慮ください。

温泉以外にも様々なサービスがあり、その数は泥パック、重量バス、タンгент水中マッサージなどおよそ 40 種類にのぼる。一日中 4 つの治療法をご利用の方は割引をもらえる。





アクアパーク

プールの領域から入れる水滑り台の楽園。

9つのタイプの水滑り台が設置されており、10メートル以上の高さからも滑ることを楽しめる。

2014年はアクアパークの面積に1ヘクタールが加わり、「極限ゾーン」ができ、水滑り台の数は15台に増え、ロッククライミングウォールまでできた。高さ16メートルの水滑り台から見える景色だけでも極限な体験となるだろう。アクアパークは水滑り台の他に、子供のための面白いコンセプトのプールも2つある。



保養地

レクリエーションと息抜きにぴったりの場所。

保養地の面積は30ヘクタールで、13面のプールがバリエーションを与えている。

その上、保養地の領域にある池での舟遊び、ペダルボートなどのチェスが可能。可愛い亀も見られる。

プールの中で一番独特と言えるのは地中海の海辺をイメージとしたプールで、まるで海辺のようと感じさせられるし、砂浜やヤシの木や海賊の船のもどきが置いてある。

幼い子供を楽しませるように子供専用プールと遊び場がある。スポーツをしたい方の要望に応じ、ビーチボール、フットテニス、ピンポン、ビーチサッカー、テニスなどスポーツの可能性もある。

サウナを利用するのは別料金だが、一日中利用しても500Ftと、あまり高くない。

ありのままの自然さを好み、自分を太陽の下で曝け出したいという方はヌーディスト島をご利用できる。

そして保養地の領域には様々な飲食店が並んでいる。（ハイドゥーソボスローはlángosがお勧め）

それに、Hungarospaは水の中の体操、パフォーマンスなど様々な無料プログラムでお客様をもっと楽しませようとしている。



アクアパラス

アクアパラスは 2010 年に建てられ、一年中開いている。
入浴とスポーツの機会の他に、様々な種類のサウナの利用も可能。
豪華な空間を味わいたい方にはプライベートバスやリラックスルームなど、個人的なサービスもある。



施設は子供に必要なものは何かと意識し設計され、親子連れが快適に過ごせるよう、子供のリラックスルームなど、色々なサービスがある。

一階の 8 面のプールはそれぞれ違うコンセプトにしたがってできており、訪れた方を退屈させない。色々な文化や時代の雰囲気はプールで表されている。例えば、「映画館入浴」は昔このアクアパラスの場所に建った映画館を思い出させるように造られた。

一番高い水滑り台は 8 メートルで、長さは 74 メートルである。
さらに、アクアパラスではサーフもできる。



入場料

温泉と保養地のご利用の際

	5月1日から6月30日まで	7月1日から8月31日まで
大人	1900 HUF	2300 HUF
学生、60歳以上	1600 HUF	2000 HUF

アクアパーク

5月1日から6月30日まで	7月1日から8月31日まで
2900 HUF	3300HUF

アクアパラス

	1月1日から5月31日まで、 9月1日から12月31日まで	7月1日から08月31日まで
大人	3200 HUF	3800 HUF
学生	2200 HUF	2800 HUF
7歳以下の子供	1200 HUF	1700 HUF

詳しくはホームページで：<https://www.hungarospa.hu/en/Hungarospa-Prices/Aqua-Palace-Experience-bath-prices>

🌀 Hungarospa の周辺

温泉施設の入り口の横にハイドゥーソボスローの温泉を見つけた科学者、Pávai-Vajna Ferenc（パーワイ・ワイナ・フェレンツ）の像がある。そして Hungarospa の前は緑が多く、きれいな公園が広がっている。噴水の隣にある、ハンガリー人が 895 年にこの地域に来たということの記念碑、「Harangház」「鐘の家」は鐘がおよそ 50 口ある。



🌀 都心

都心は温泉町から歩いて 20 分くらい離れている。道には色々な店やレストランが並んでおり、風情がいい。都心のカールヴィン広場（Kálvin-tér）にある改革派教会は 15 世紀に建てられ、教会の前は第一次世界大戦の記念碑が建っている。



🌀 Bocskai István Múzeum（ボチカイ・イシュトワーン博物館）

この博物館は鐘や絵画作品、農業の歴史や昔の農民の生活などの紹介する常設展示室がある。

基本情報

住所	Hajdúszoboszló, Bocskai u. 12.
ホームページ	www.bocskaimuzeum.hu
営業時間	火-日：10 時間 - 18 時間
大人入場料	1200 HUF
学生入場料	600 HUF



🌀 Hajdúszoboszlói Tájház（ハイドゥーソボスローの民家）

この民家の中には伝統的なハンガリーの品物が揃っており、主に地域の伝統を語る品物が集まっている。訪れる際は、予めご予約下さい。

基本情報

住所	Hajdúszoboszló, Wesselényi u. 37.
メール	info@napfenyvendeghaz.com
電話番号	+36 20/ 545-7270 +36 70/ 416-7276

大人入場料	300 HUF
子供入場料	200 HUF



🌀 Mókuskaland Élmenypark (リスの冒険・アドベンチャーパーク)

体を動かし、冒険を体験したい方へお勧めである。

基本情報

住所	Hajdúszoboszló, Liget u. 23.
ホームページ	http://www.mokuskalandpark.hu/
営業時間	10時から19時まで
子供入場料	1800 HUF
大人入場料	2600 HUF
滑りコース	1900 HUF



🌀 Canopy pálya (キャノピーコース)

Canopy walkways とは高いところに張ったワイヤーロープを滑車で滑るアトラクションである。

ヨーロッパで一番大きいキャノピーコースはソボスローにある。町から 7km 離れたところ、4号の道路のそばにある。

基本情報

ホームページ	http://www.xpark.hu/hu
メール	info@xpark.hu
営業時間	3月30日から8月31日まで 10時から18時まで
入場料	2500 HUF



🌀 イベント

ソボスローはコンサートや食祭などのイベントがよく行われている。

イベントに関する情報はこのサイトで英語で読める：

<https://hajduszoboszlo.hu/en/rendezvenyek - nezet=list>

レストラン

☞ Lorena Étterem (ロレナ・レストラン)



Hungarospa の近くにあるロマンチックで大人気なレストラン。食べ物もおいしく、あまり高くない。

住所：Hajdúszoboszló, Hőforrás utca 9.

電話番号：+36 30/372-2643

ホームページ：

<http://etterem.lorenapanzio.hu/>

☞ Nelson Pub Étterem és Cukrászda (ネルソン・パブ・レストランと製菓)



町の都心にあるこのレストランの特徴は海賊船のようなデザインである。製菓で買えるケーキの多様性は多く、値段も高くない。

住所：Hajdúszoboszló, Hősök tere 4.

電話番号：+36 52/270-226

ホームページ：

<http://www.nelsonhotel.hu/gasztronomia/>

☞ Sunny Corner Terasz és Bár (サニー・コーナー・テラスとバー)



レトロなバー。

住所：Hajdúszoboszló, Szilfákalja utca 40.

電話番号：+36 30/9630-996

ホームページ：

<https://hajduszoboszló.hu/en/ettermek/sunny-corner-terasz-es-bar>

☞ Mátyás Borozó (マーチャーシュ・ワインバー)



ロマンチックで閑静な環境でワインが試飲できる。

住所：Hajdúszoboszló, Mátyás király sétány 17.

ホームページ：

<https://hajduszoboszló.hu/en/ettermek/matyas-borozo>

ホテル

🌀 Hotel Atlantis****

各室に WiFi が提供されており、ペットの持ち込みも可能。

ホテルでサウナや様々なプールやウェルネスサービスなども利用できる。

スタッフは英語、ドイツ語、ロシア語などの言語で話せる。

Hungarospa からは徒歩で 3 分くらいの距離である。

ラグジュアリーな空間を好む方へお勧め。

住所：Hajdúszoboszló, Damjanich utca 10.

宿泊費：最低 13900 HUF

電話番号：+36 52/899-930

メール：info@hotelatlantis.hu

ホームページ：<http://www.hotelatlantis.hu/>



🌀 Hunguest Hotel Béke****

主にお年寄りの方に人気のある豪華なホテル。

Hungarospa から 3 分くらいかかる。

WiFi、サウナ、様々なプールやウェルネスサービスの利用も可能。

話されている言語は英語、ドイツ語、ロシア語などである。

住所：Hajdúszoboszló, Mátyás király sétány 10.

宿泊費：最低 14900 HUF

電話番号：+36 52/361-411

メール：

hotelbeke@hunguesthotels.com

ホームページ：<http://www.hunguesthotels.hu/hu/hotel/>



☞ Mátyás Apartmanok (マーチャーシュ・アパート)

Hungarospa から 2 分くらい離れているところにある。

WiFi はないが、ケーブルテレビはある。
部屋も安いのに対し、きれいである。
スタッフは英語で話せる。

住所：Hajdúszoboszló, Fürdő utca 2.

宿泊費：最低 3500 HUF

電話番号：+36 30/943-0228

メール：info@matyasapartmanok.hu

ホームページ：<http://matyasapartmanok.hu>



☞ Laci Betyár Fogadó (ラツィ・ベチャール・グストハウス)



Hungarospa から 8 分くらい離れている。

WiFi が提供されている。
スタッフは英語とドイツ語で話せる。
この地域の伝統的な雰囲気が味わいたい方へお勧め。

住所：Hajdúszoboszló, József Attila utca 38.

宿泊費：最低 3500 HUF

電話番号：+36 30/627-4924

メール：info@lacibetyarfogado.hu

ホームページ：

<http://www.lacibetyarfogado.hu>



町の歩き方



ソボスローはバスはあるが、本数はあまりにも少なく、不便である。鉄道駅に着いたら、タクシーで宿泊施設まで行った方がいいだろう。

一方、ソボスローは小さな町なので、どんな名所でも Hungarospa から徒歩 20 分内に行ける。例えば、この地図で Hungarospa から一番遠く見える「リスの冒険・アドベンチャーパーク」でも、18 分ぐらいで着けるはずである。

散歩に飽きた方は自転車が借りられる。それに「Bringóhintó」、何人でも乗れる観光のための自転車に乗れば、風景の一風変わった楽しみ方が経験できるだろう。



是非ハイドゥーンソボスローへ
いらしてください！

